

喜多方市立第一中学校で 防災出前講座を実施しました



多発する自然災害、田付川の災害について説明を受ける様子



喜多方市市民部危機管理課からハザードマップについて説明を受ける様子(6月29日)



・災害に備えていきたいと思いました。
・自分の命は自分で守るということを意識して生活していきたいです。

講義を受けた中学生の感想

出前講座では、全国各地で発生している洪水や土砂災害などの自然災害が、私たちの身近にも発生する可能性があることを知ってもらうため、過去に田付川で発生した災害事例などを紹介しました。

また、喜多方市ハザードマップを見ながら、洪水や土砂災害の危険箇所や避難場所を確認したり、模型学習では、生徒自らが模型に触れ、土砂災害の特徴、対策施設の仕組みや早目の避難行動の重要性など、自然災害から身を守るための心構えについて学習しました。

1 実施日時

令和8年6月29日(月) 13:45～15:35(1年生)

令和8年7月 2日(木) 13:45～15:35(2年生)

2 受講者

喜多方市立第一中学校 1年生78名、2年生80名

3 実施協力

喜多方市市民部危機管理課
福島県砂防ボランティア協会



土砂災害模型を使って、学習する様子(7月2日)

近年、地球温暖化に伴う局地的集中豪雨など、洪水や土砂災害により、多くの尊い命が失われています。

福島県では、「集中豪雨から命を守るプロジェクト事業」として、地域が連携した減災体制の構築や、地域住民の防災意識の向上のため「防災出前講座」等を実施しています。